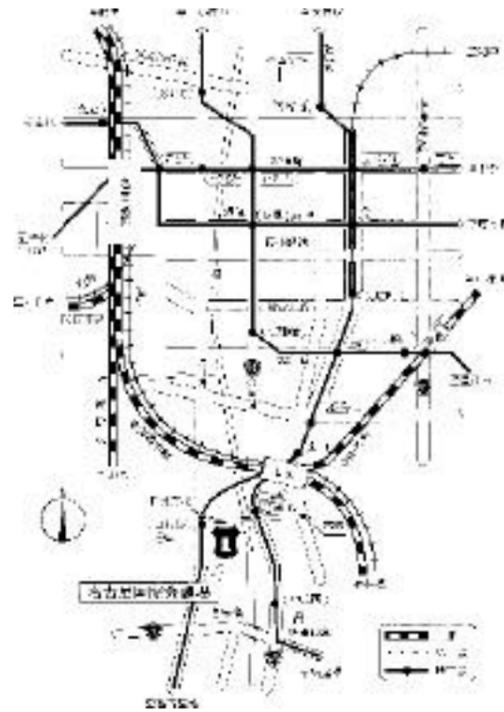


会場へのご案内



総会会場案内
名古屋国際会議場
 名古屋市熱田区西町1-1

交通機関
 JR線「名古屋」から東海道線、
 中央線で「金山(かなやま)」下車
 名鉄「新名古屋」から「金山」下車

地下鉄名城線に乗り換え
 「日比野」(名古屋港行)下車
 「西高蔵」(新瑞橋行き)下車

徒歩5分

宿泊/交通の問い合わせ先
 名鉄観光サービスKK 名古屋中央支店
 TEL/052-586-4547
 FAX/052-526-4050

平成9年度 日本造血細胞移植学会収支報告書

平成8年度よりの繰越金	4,842,645
収入の部	
摘要	金額
会員会費@ 5,000円×852名分	4,260,000
名簿広告掲載料@50,000円×22社	1,100,000
利息	1,529
小計	5,361,529
支出の部	
摘要	金額
事務局代行費	2,724,983
事務局人件費	600,000
年次総会事務負担金	1,000,000
登録センター事務負担金	1,200,000
会員名簿作製費	2,452,086
ニューズレター発行費等	594,405
旅費等	99,220
小計	8,670,694
平成10年度への繰越金	1,533,480

以上の会計報告に関しては、平成10年3月末日に会計監査を行い、銀行貯金通帳、残高証明を確認し適切に会計が行われていることを認めます。

日本造血細胞移植学会監事 柴田 弘俊 長尾 大



発行：日本造血細胞移植学会 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65番地名古屋大学医学部第一内科内 TEL (052) 744-2146 FAX (052) 744-2161
 発行者：齋藤 英彦 編集責任：日本造血細胞移植学会ニューズレター編集委員会 印刷：株式会社セントラルコンベンションサービス 年2回発行：1998年10月発行

第21回日本造血細胞移植学会総会開催のお知らせ

第21回日本造血細胞移植学会は12月18日(金)19日(土)の両日に名古屋国際会議場にて開催され、3題のシンポジウムをはじめ約350題の発表が行われます。

この学会総会の特色は4点あります。

第1に、造血細胞移植に関わるすべての人々が集い、学ぶ場になっており、移植医だけでなく看護婦さん、コーディネーター、ボランティアなど医師以外の数多くの方々の参加があります。これは造血幹細胞移植が“共に力を合わせて”はじめて成り立つ社会に支えられた医療であるからであり、本総会ではこの“共に力を合わせて”を合い言葉にしました。19日午後の公開会長シンポジウム「日本における造血幹細胞移植の現状と将来展望」ではこれからの移植医療の在り方を様々な角度から探ります。引き続き「骨髄バンク全国大会」が開催されます。

第2に、最近の急速な造血幹細胞移植医療の拡がり多様化は目覚ましく、これらの動きに対応すべく、細胞療法、臍帯血移植などの10の特別講演や末梢血幹細胞移植に関するシンポジウムを企画しました。

第3の特色は臨床に根差した学会であり、臨床の現場で本当に役に立つ発表が多いことです。骨髄バンクを介した非血縁者間骨髄移植の成績向上のための最大の課題は重症移植片対宿主病(GVHD)の克服であり、シンポジウム「GVHDの臨床」でその方策を討議します。また、移植により多くの患者さんが治癒するようになった今日では移植後のQOLの向上は取り組まなくてはならない最重要課題であ

り、その現状と方策についてワークショップで討議されます。

イベントホールで行われるポスター発表はワークショップや一般口演の演題も含めて2日間で300題以上になり興味ある演題が数多く見られます。討論を中心にした発表の時間を設けていますので、日頃疑問に思っていることなどface to faceで大いに議論していただきたいと思います。会員が一同に会する場でもあり、さらにお互いの親睦が深まるよう第1日夕方には飲食の用意をしました。

第4には、我が国では昨年1年間に約2,000例の造血幹細胞移植が実施されており、本学会ではその移植症例の全国集計をし、約10,000例の集積症例の臨床成績を総会で発表します。また、学会として移植医療の様々なガイドラインを作成中であり、広くコンセンサスを得る場でもあります。

本学会は前身の日本骨髄移植研究会時代の若くて、自由で、柔軟に対応する雰囲気を引き継いでおり、多くの方々に参加願ひ、活発な討議がなされ、参加された方々にとって実り多いものになることを期待しています。

第21回日本造血細胞移植学会総会

平成10年12月18日・19日

学会長 森島 泰雄(愛知県がんセンター血液化学療法部)

連絡先 総会事務局 愛知県がんセンター 血液化学療法部

FAX 052-764-2923 E-mail jshct@aichi-cc.pref.aichi.jp

第21回日本造血細胞移植学会総会プログラム

シンポジウム

I GVHDの臨床

司会/森下剛久、土田昌宏
第1日 9:00～11:00 第1会場

1.GVHDの現状：全国集計から

2.急性GVHDの診断基準

3.急性GVHDとthrombotic micro-angiopathy
浜口元洋（名古屋第1赤十字病院 第5内科）

4.急性GVHDの予防
佐尾 浩（名鉄病院 血液内科）

5.急性GVHDの治療

6.慢性GVHDの診断と治療

II 自家造血幹細胞移植の動向と臨床研究の成績

司会/小椋美知則 飛内賢正
第1日 13:00～14:50 第1会場

1.はじめに
飛内賢正（国立がんセンター中央病院 内科）

2.悪性リンパ腫
初発症例に対する移植
今城健二（岡山市立市民病院 内科）
原田実根（岡山大学医学部 第2内科）

再発難治症例に対する移植
鏡味良豊（愛知県がんセンター 血液化学療法部）

3.多発性骨髄腫

4.乳がん

III 日本における造血幹細胞移植の現状と将来展 （公長公開シンポジウム）

司会/森島泰雄 小寺良尚
第2日 14:30～16:30 第1、2会場（白鳥ホール）

1.移植と医療体制の現状と今後の方向性

2.造血幹細胞移植における臨床研究の在り方

3.造血幹細胞移植データの集計とその公開

4.移植医療における行政の役割

5.患者から見た移植医療の在り方
患者相談窓口(patient advocacy)
橋本明子（日本つばさ協会）
セコンドオピニオン

特別講演

A 組織適合性抗原解析の進歩

十字猛夫（日赤中央血液センター）/司会 池田康夫
第1日12:00～12:45 第1会場

B Prevention of opportunistic infections in bone marrow transplant recipients.（同時通訳）

Clare A. Dykewicz (National Center for Infectious Diseases USA)
司会 正岡 徹
第1日12:00～12:45 第2会場

C 白血病治療の進歩

谷本光音（名古屋大学第1内科）/司会 大野竜三
第1日12:00～12:45 第3会場

D Malignant lymphoma and peripheral blood stem cell transplantation

Dr Bertrand Coiffier (Centre Hospitalier Lyon-Sud, France)
司会 小川一誠
第1日17:00～17:45 第1会場

E QOL in bone marrow transplantation.（同時通訳）

Dr John R. Wingard (Florida Univ. USA)
司会 浅野茂隆
第1日17:00～17:45 第2会場

F CD34 positive selection for PBSCT

Dr James Vrendenburgh (Duke Univ. USA)
司会 上田龍三
第1日17:00～17:45 第3会場

G Guideline for hematopoietic stem cell transplantation

Dr Keith M. Sullivan (Fred Hutchinson Cancer Research Center USA)
司会 斎藤英彦
第2日11:00～11:45 第1会場

H Adoptive immunotherapy

Dr JH Frederik Falkenbuerg (Leiden Univ. Netherlands)
司会 珠玖 洋
第2日12:00～12:45 第1会場

I 臍帯血バンクと移植

原 宏（兵庫医科大学輸血部）/司会 長尾 大
第2日12:00～12:45 第2会場

J 自己免疫疾患と造血幹細胞移植

池原 進（関西医科大学病理）/司会 溝口秀昭
第2日12:00～12:45 第3会場

ワークショップ

A 移植後のQOL向上をめざして

司会 平林憲之 土肥博雄 第1日 13:00～14:50 第2会場

B リスクファクターを有する症例にたいする移植

司会 山田博豊 平岡 諒 第1日 15:00～16:45 第1会場

C 移植時の口腔内ケア

司会 澄川美智 和歌恵美子 第1日 15:00～16:45 第2会場

ガイドライン コンセンサスミーティング

白血病における同種骨髄移植の適応

司会 堀部敬三 岡本真一郎
第2日9:00～11:00 第1会場

教育講演

第1日 13:00～16:30 第3会場

- 1.CMVガイドライン
権藤久司（九州大学 第1内科）
司会 仁保喜之
- 2.EBウイルスとその感染症の治療
葛島清隆（愛知県がんセンター研究所 ウイルス部）
司会 河 敬世
- 3.移植免疫の基礎
東 英一（三重大学 臨床免疫診療部）
司会 今村雅寛
- 4.微少残存腫瘍細胞の検出と移植
宮村耕一（名古屋大学 第1内科）
司会 直江知樹
- 5.移植合併症の病理所見
平林紀男（名古屋第1赤十字病院 病理部）
司会 影山慎一

第2日 11:00～11:40 第2会場

- 6.造血幹細胞移植における輸血療法
高本 滋（愛知医科大学 輸血部）
司会 神谷 忠

第2日 11:00～11:40 第3会場

- 7.院内感染対策
矢野邦夫（県西部浜松医療センター 感染症科）
司会 江崎幸治

第2日 13:00～14:20 第3会場

- 8.移植後のドナーリンパ球輸注療法（DLT）について
塩原信太郎（金沢大学 第3内科）

9.ドナーからの骨髄採取について

秋山祐一（京都大学 小児科）
司会 柴田弘敏

示説 (イベントホール)

A 第1日 9:00～19:30

討論18:00～19:30（発表者はポスター前に）
（座長による討論18:10～18:50）

A 第2日 9:00～16:30

討論13:00～14:30（発表者はポスター前に）
（座長による討論13:10～13:50）

総会

第1日 11:00～11:45 第1会場

役員会

理事会 12月17日 13:30～15:30

評議員会 12月17日 16:00～19:00

名鉄ニューグランドホテル

懇親会 (イベントホール)

第1日 18:30～20:00

示説の討論開始後に飲み物と軽食を用意します（無料）

学会関連行事

造血細胞移植看護ネットワーク総会

第1日 9:00～10:20 第2会場

講演 広瀬千也子（慶應大学付属病院 看護部）
感染における看護の役割 “感染防止の基本的な考え方”

骨髄バンク全国大会

共催 骨髄移植推進財団/骨髄バンクを支援する愛知の会/愛知県/名古屋市

第2日 17:00～19:30 第1,2会場:白鳥ホール

総会参加費

12,000 円

パラメディカル..... 6,000円
コーディネーター/ボランティア..... 1,000円

第2日午後の公開シンポジウムは無料